

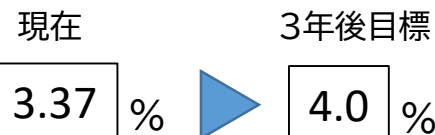
事例 2

廣瀬精工株式会社

(業務内容：製造業 ベアリング・自動車部品・試作品の金属切削加工)

障がい者の働きやすい職場環境を整えることが 全従業員の満足度の向上につながる

障がい者実雇用率



課題

障がい者雇用率の更なる雇用拡充に向けて

- ▶ 会社の障がい者雇用率・目標を4%設定、最終目標5%を掲げているが雇用率伸び悩み
- ▶ 面接時の障がい者の行う業務内容の適正判断
- ▶ 現場職制の戸惑い

取組

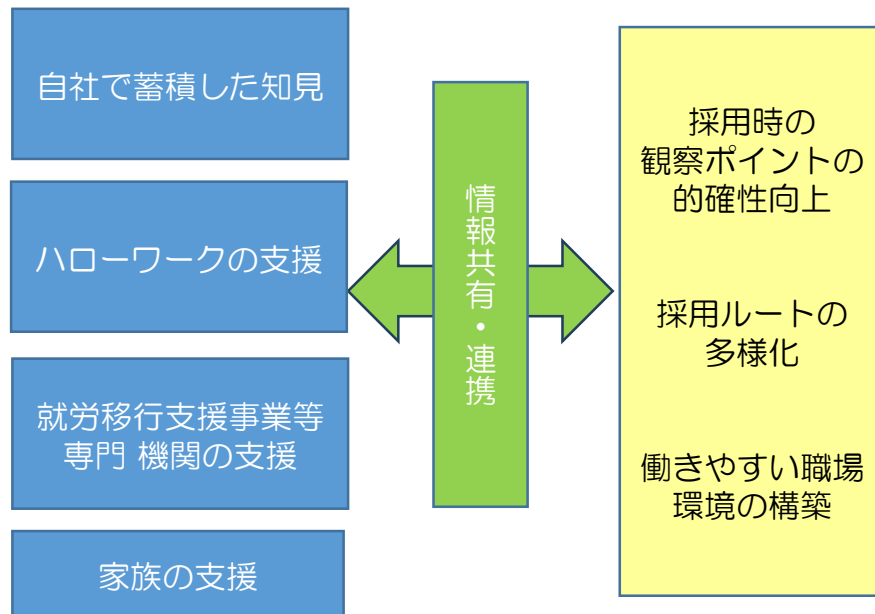
関係機関からの情報収集、相談、対策の取り入れ

- ▶ 障がい者雇用の方針を会社方針に明記すること
- ▶ ハローワーク実施の障がい者面接会への参加、ハローワーク伊勢にて障がい者ミニ面接会の開催
- ▶ 「精神・発達障がい者仕事サポーター養成講座」をハローワークから講師を呼んで開催し、社長、役員、管理職、職制24名が参加

展望

働しやすい職場環境を整えて全従業員の満足度向上を目指す！

- ▶ 「障がい＝個性」ということの社内理解を進める
- ▶ 障がい者の働きやすい職場環境を整え、全従業員満足度調査の向上を図る！



事業に参加しての感想

廣瀬精工（株）総務部課長 高倉さん

廣瀬精工（株）は、創業74年の地元密着企業です。近隣の特別支援学校玉城わかば学園からの実習の受入れや、ハローワークからの各種情報共有を実施して障がい者雇用率向上を進めています。この事業に参加したことで、障がい者を含めた全ての従業員の満足度向上が会社全体の生産性向上につながる事が良く分かりました。この事業に参加した他企業や就労移行支援事業所や行政の方などと有意義な情報共有、連携が図れましたこと感謝しています。

仕事の風景（左：箱の運搬作業、右：食堂での賄い業務）

